



企業における研究と開発: 科学技術人材の役割
R&D in Industries: Expected functions and activities of engineers

佐藤 順一
Jun'ichi Sato

国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
Principal Fellow, Center for Research and Development Strategy
Japan Science and Technology Agency

日時: 2016年10月6日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

企業が成長していくためには、企業独自の科学技術に関するイノベーションを絶え間なく推進していく必要がある。科学技術イノベーションにおいては、多くのエンジニアが科学と技術の違い、研究と開発の違いを意識せずに活動しているが、本来はこれらの違いを認識して活動しなくてはならない。企業が必要としている技術系幹部人材は、特定の課題や諸問題について、文献やデータなどを種々の方法で採集し、論理的に考察し解決できる能力を持ち、さらに環境や条件についての十分な理解のもとで、適切な機能を設計し実践できる人物である。さらに近年では、それらをグローバル化というキーワードで推進できる人物が求められている。本講演においては、これらについて述べ議論していく予定である。

